

漁海況情報第5報 (2019年8月5日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0139

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

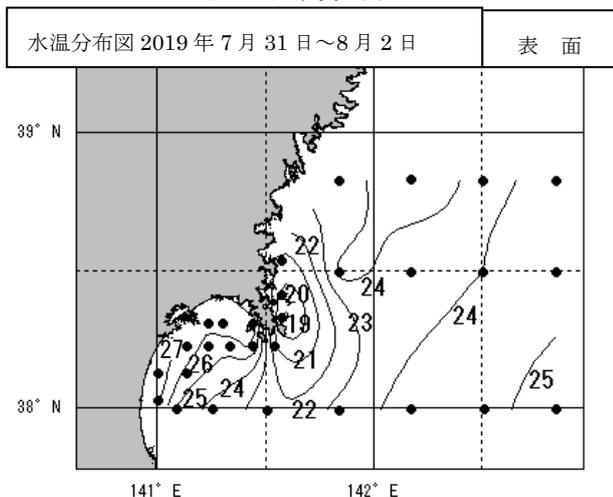
142° E 付近に冷水が差し込み水温が低くなっている一方、沖合では水温が高くなっています。

宮城県沿岸の表面水温は 18～27℃台、100m 深水温は 3～12℃台となっています。表層水温は仙台湾内及び 142° E 以東で 2～3℃高くなっていますが、牡鹿半島沿いでは 1℃低くなっています。水深 100m では、142° E 近辺に冷水が差し込み、平年より最大 4℃低くなっています。[P1. 水温水平分布図] [P1. 水温平年偏差図]。鉛直断面図からは、成層化が進んでいることが見て取れる一方、142° E 付近の水深 50m 以深に冷水が波及しているのが見られます。[P2. 水温鉛直断面図]。

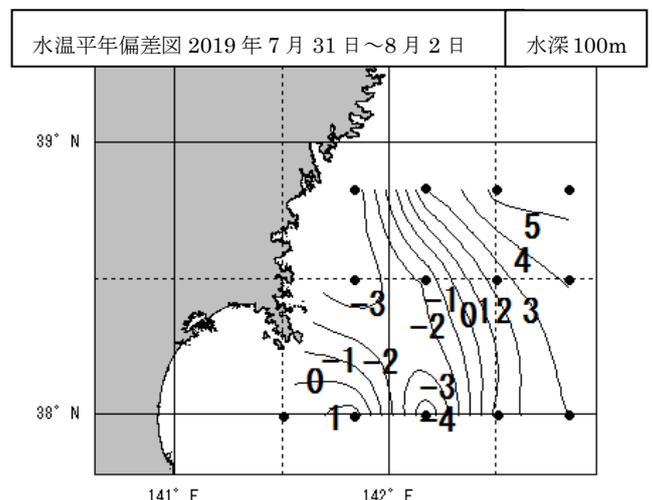
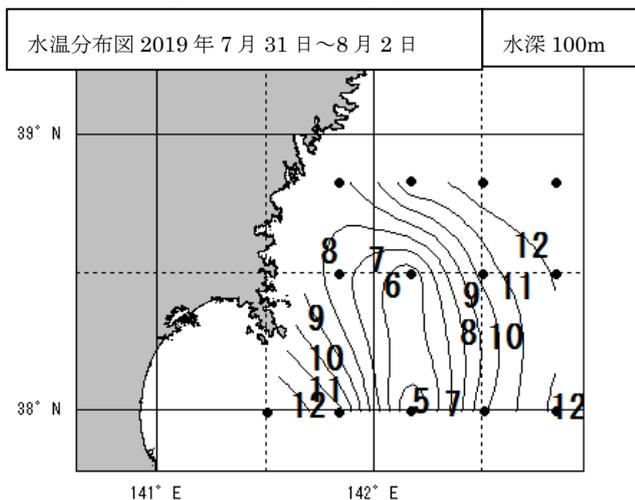
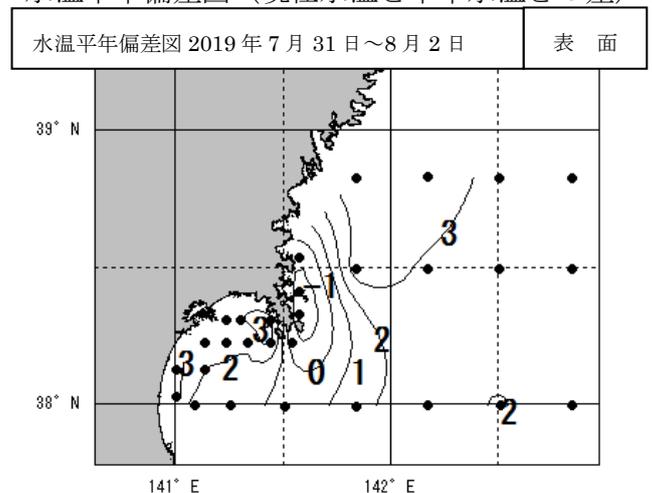
(一社) 漁業情報サービスセンター表面水温情報によると、23℃台の暖水が九十九里～仙台湾に接岸後、金華山～田老沖を北上しています。[P2. 東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

7 月下旬の定地水温は 18～25℃台で、気仙沼・歌津でやや高め、亶理でやや低め、その他の観測点で平年並みです [P3. 定地海洋観測図]。海底直上水温は 3～16℃台で去年より低めです [P3. 海底直上水温図]。

・水温水平分布図

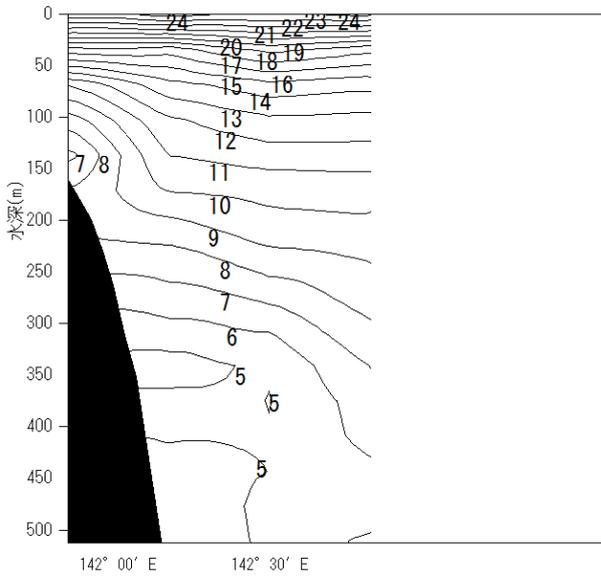


・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)

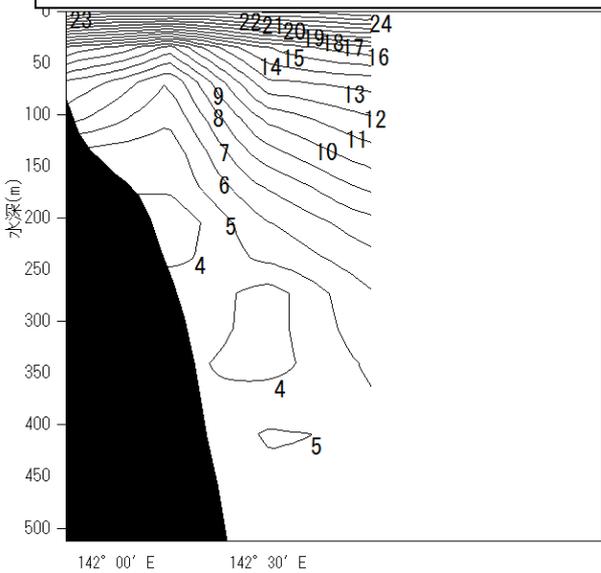


・水温鉛直断面図

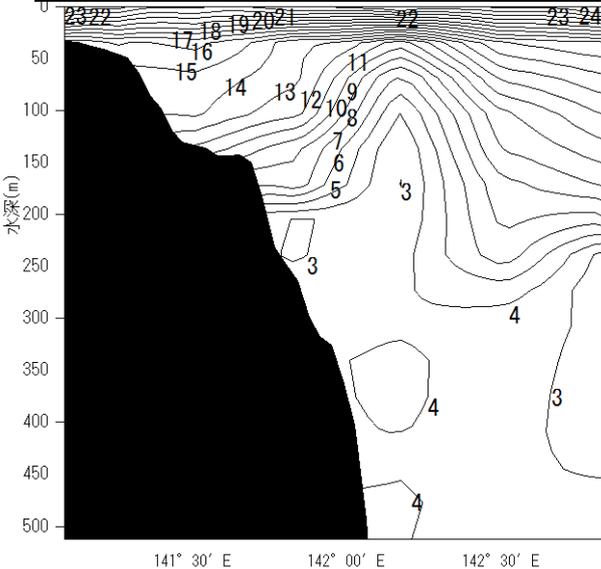
38° 50' Nライン (気仙沼沖合ライン)



38° 30' Nライン (雄勝沖合ライン)

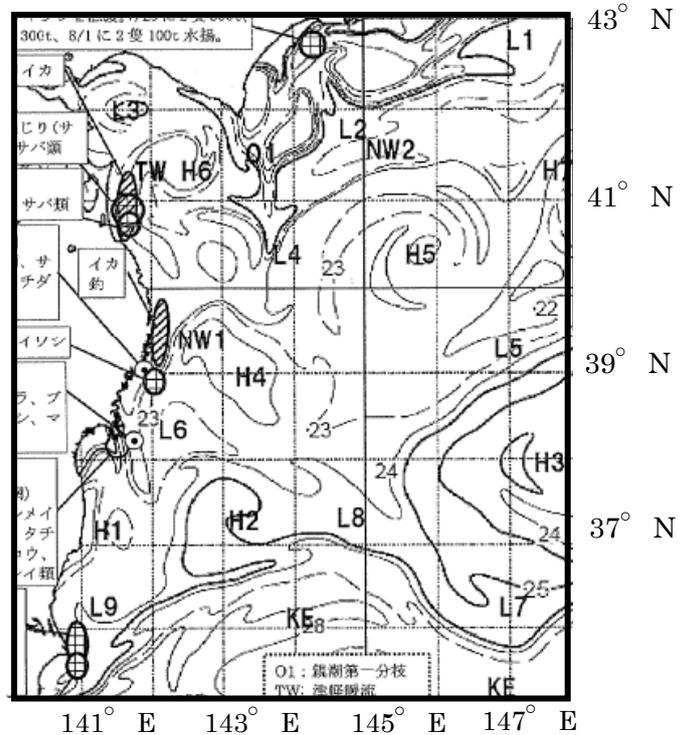


38° 00' Nライン (亶理沖合ライン)



2019年8月2日の東北海道の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

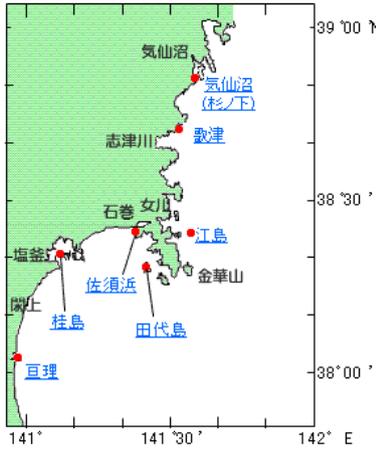
【海況】 (8月1日表面水温)

- ・親潮 14°C台は厚岸沿岸, 18°C台の冷水は三沢沖東100海里で停滞。
- ・黒潮続流は 26~28°C台を維持し常磐沖まで北上, その後 146° E で南下し房総沖を東進。
- ・23°C台の暖水が九十九里~仙台湾に接岸後, 金華山~田老沖 10~40海里を北上。
- ・さらに 20~22°C台は黒崎~尻屋崎沖の 144° 以東を厚岸沖南 40海里まで北上。
- ・下北~金華山沿岸に親潮, 津軽暖流, 北上暖水の混合水 (21°C台) が分布

【漁況】 (7月30日~8月1日)

- ・まき網: 八戸沖でスルメイカの水揚が増加傾向。気仙沼沖で一そうまき網がマイワシ 127t を漁獲。鹿島沖~犬吠埼沖ではマイワシ, マアジ, ウルメイワシなど漁獲。
- ・定置網: 石巻はサバ類, サワラ, ブリ類, マアジ, 大船渡はブリ類とサバ類主体。
- ・カツオ竿釣: 漁場がさらに北上, 平均 10t を漁獲, 今季もっとも好漁。
- ・カツオ・マグロまき網: カツオ水揚増加, 価格安定化。
- ・スルメイカ: 八戸と大船渡の釣イカ水揚量が増加。

・定地海洋観測



	7月下旬		平年差	前年差
	観測値	傾向		
気仙沼(杉ノ下)	20.1	やや高め	0.8	-0.9
歌津	19.9	やや高め	0.9	-2.3
江島	18.7	平年並み	-0.1	-2.3
田代島	22.8	平年並み	0.5	-2.0
佐須浜	23.5	平年並み	0.4	-1.5
桂島	25.3	平年並み	0.1	-2.0
巨理	23.2	やや低め	-0.8	-2.3

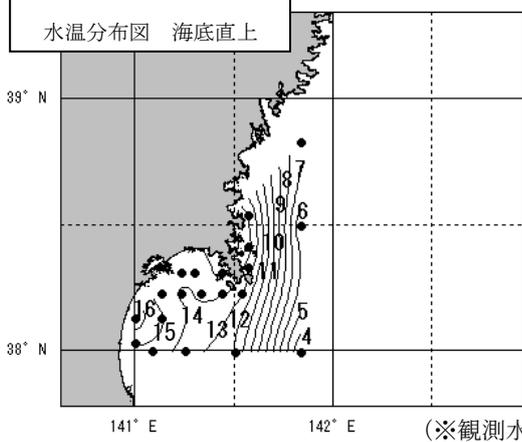
※平年値 岩井崎(過去30年)
 江島(過去30年)
 佐須浜(過去10年)
 歌津(平成28年12月から観測再開)
 桂島(平成24年3月から観測開始)
 巨理(平成24年10月から観測開始)

※最新の定地海洋観測結果は、

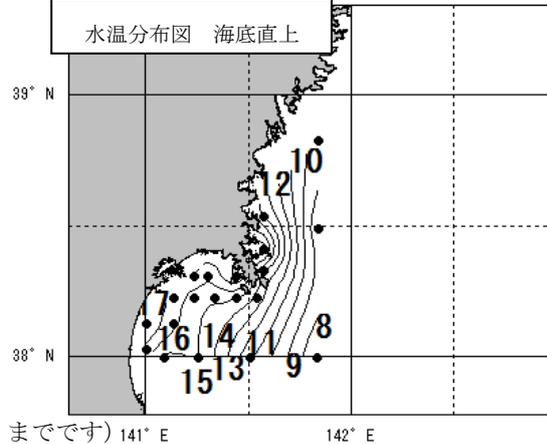
<http://www.miyagi-suisan-navi.jp>でも公開中です。

・海底直上水温図

7・海底直上水温(2019年7月31日～8月2日)



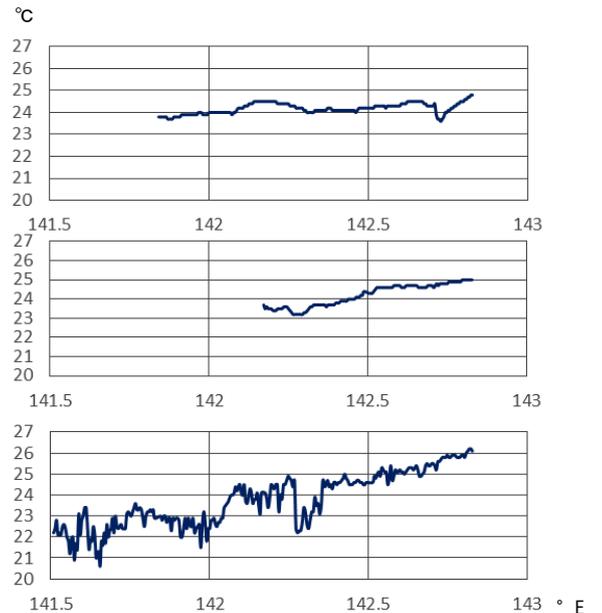
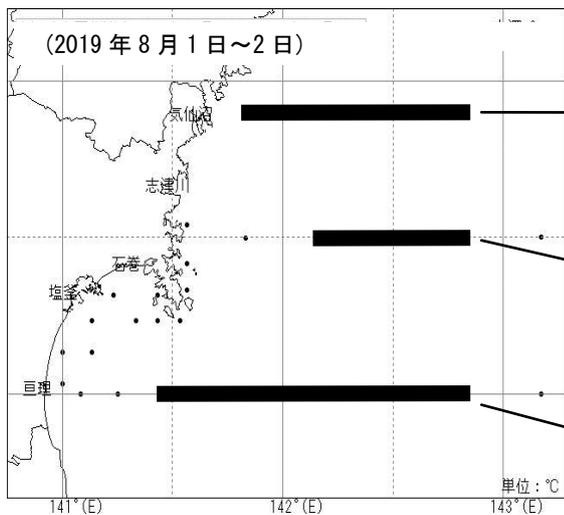
・海底直上水温(2018年8月2日～8月3日)



(※観測水深は500mまでです)

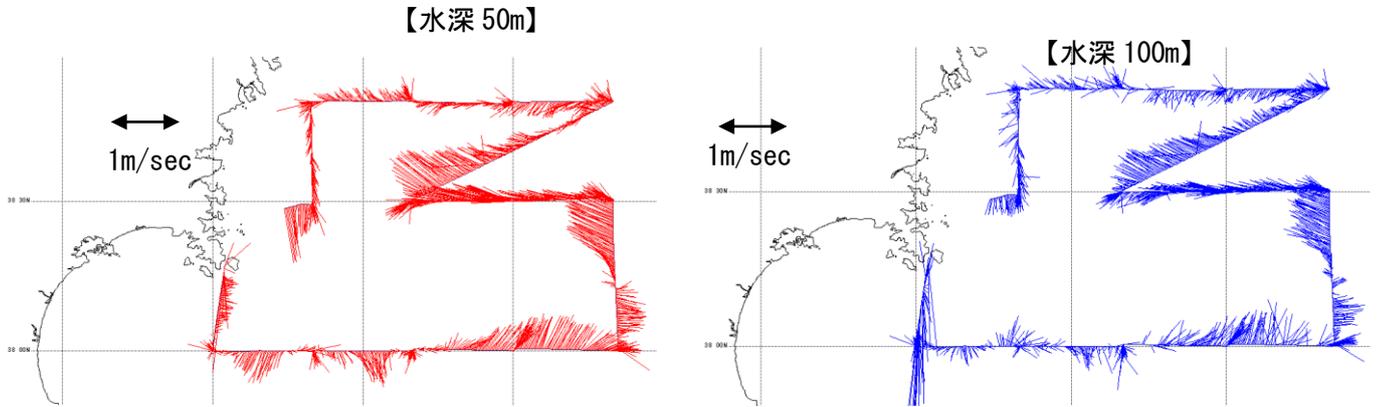
2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記の通りです。



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」による流向流速情報は下記のとおりです。



4. 漁況

7月の水揚量は前年と比較して、カタクチイワシ、キハダ、マアジ、ヒラメ等が増加しています。クロマグロ、ガザミ、カツオ、マコガレイ、スルメイカ等は減少しています。

2019年7月	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網	いか釣り	延縄	流し網	その他	総計	前年同月比
ビンナガ			56		930				82	0	225	1293	72%
メバチ			65		67				14	0	41	188	88%
クロマグロ			60			4				4	3	70	17%
キハダ			203		7				35	1	4	250	269%
カツオ			2203		1793				2	28	1050	5076	47%
マアジ	0	77				300	0				8	385	197%
サバ類	55	15				738	0				23	831	80%
ブリ		0				306	0				9	314	64%
ヒラメ	0	49				7	75				58	189	172%
サメガレイ	0	0									0	0	491%
マコガレイ		28				0	8				6	42	53%
マガレイ		8				0	1				0	8	107%
ババガレイ	0	2				0	0				1	3	92%
カナガシラ	0	24				4	0				0	28	121%
スルメイカ	2	18				8		1			0	30	60%
ミズダコ	0	26				0	0				71	97	126%
マイワシ		0	5148			3092					569	8810	132%
カタクチイワシ						19					49	68	1800%
ガザミ		0				0	17				9	26	30%

(単位：トン)

5. 調査船運航計画

みやしお	
8/5~7	沖合定線調査
8/19~20	イカ類漁場一斉調査
8/21~22	
開洋	
8/6	種ガキ調査
8/7	七ヶ浜ノリ漁場調査
8/19	ヒラメ新規加入量調査